

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目:2)	評価
	以前町内会に加入していたが、回覧板等も無く情報を得られないことから、現在加入していない。運営推進会議のメンバーの老人会会長や直接主催者から情報を得て地域行事に参加している。毎朝の外掃除での挨拶、近所の喫茶店、散歩や買い物に出かけ顔を覚えてもらったり、美容院の利用等地域との交流に努めている。講習会の開催や講師派遣は実施していない。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目:3)	評価
	2か月に1回、入居者、入居者家族、老人会会長、知見を有する人の参加を得て開催している。業務活動報告、日常の事例や提案事項を話し合っている。参加者から意見を頂き参考にしている。外部評価の報告も行ない、理解や支援を得られるよう働きかけている。	
重点項目	市町村との連携(外部評価項目:4)	評価
	区生活保護の担当者とは入居相談、受給者になるための手続きをお願いしたりして協力関係ができている。介護保険課への定期的訪問はない。担当者の入れ替わりがあり、パイプづくりは今後の課題である。名古屋市介護サービス事業者連絡研究会に加入しているので、市内のグループホームとの情報交換やセミナーに参加している。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目:6)	評価
	家族会はないが家族等の来訪時には職員が対応し、気軽に話せる環境が整っている。意見、要望があればすぐに対応し、記録に残し、職員間で情報を共有している。意見箱を設置しているが利用はない。毎月「セラビ便り」を作成し、個人の身体状況や生活ぶりを詳しく伝えている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	×
総合評価		×

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは日常生活の中で地域とのつながりを大切にし、地元の活動や地域住民との交流に努め、地域から孤立しないよう支援している。運営推進会議は定期的に開催し、活動報告だけでなく新聞記事、事例を紹介し情報提供や意見交換をしている。家族会は設置していないが本人、家族の希望、要望は直ぐに対応し、きちんとし記録に残し、情報の共有をしている。金銭管理はしていないが必要な買い物があれば家族に連絡し了承を得て購入している。ホーム便り「セラビだより」は毎月今月の予定、月レク、バイタルチェック、食事摂取量等を細かく報告している。

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認(記録、写真等)できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。